

研究機関名：東北大学

受付番号：	2012-1-461
研究課題名	次世代シーケンサーを用いた十二指腸・ファーター乳頭部腫瘍の全遺伝子のエクソン解析
研究期間	西暦 2012 年 12 月（倫理委員会承認後）～2020 年 3 月
対象材料	■病理材料（対象臓器名十二指腸・ファーター乳頭部腫瘍） □生検材料（対象臓器名） □血液材料 □遊離細胞 □その他（）
上記材料の採取期間	西暦 2010 年 4 月～2016 年 3 月
意義、目的	<p>ファーター乳頭部腫瘍の凍結組織試料を用いて次世代シーケンサーで全遺伝子のエクソン解析を行うことでファーター乳頭部腫瘍の分子遺伝学的な特徴を解明し、病理学的な因子（腫瘍径や分化度，リンパ節転移など），その組織亜型分類，臨床経過，特に生命予後との関連性を検討することを目的とする。</p> <p>本研究で，分子遺伝学的な観点からファーター乳頭部腫瘍の特徴を明らかにすることは，その他の癌腫で用いられている抗がん剤や分子標的薬剤を，本疾患に適用する上で極めて重要な情報をもたらし，その選択の一助になると予想される。</p>
方法	<p>本研究は国内 6 施設（国立がん研究センター，香川大学，徳島大学，東北大学，和歌山県立医科大学，東京女子医科大学）と米国・Johns Hopkins 大学との共同研究である。十二指腸・ファーター乳頭部腫瘍を対象疾患とし，手術の際に採取された腫瘍組織と非腫瘍部の凍結組織（それぞれ 250 mg）と病理診断用に作成されたパラフィン包埋ブロックを研究試料とする。凍結組織から DNA を抽出し，次世代シーケンサーによる全遺伝子のエクソン解析を行い，本疾患に関連する癌遺伝子もしくは癌抑制遺伝子を解析する。各施設で病理診断のために作成されたパラフィン包埋ブロックから未染スライドを作成して，免疫組織化学染色を行い，形態と粘液形質に基づく組織亜型分類を行う。また，病期やリンパ節転移，生命予後など臨床病理学的検討を行う。</p>
問い合わせ等の窓口	東北大学病院肝胆膵外科 水間 正道 〒番号 980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話 022-717-7205 FAX 022-717-7209 Email masamichi@surg1.med.tohoku.ac.jp